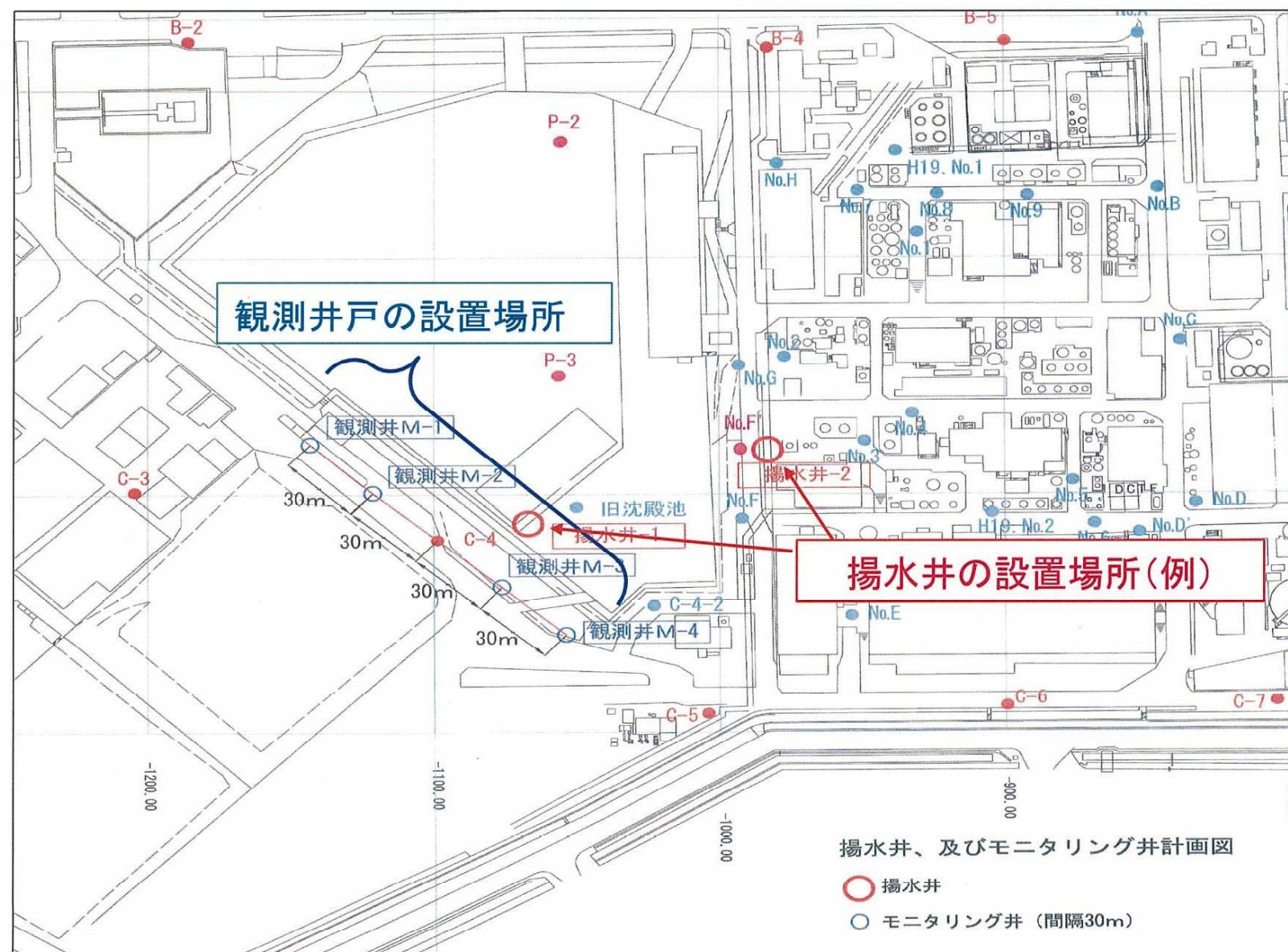


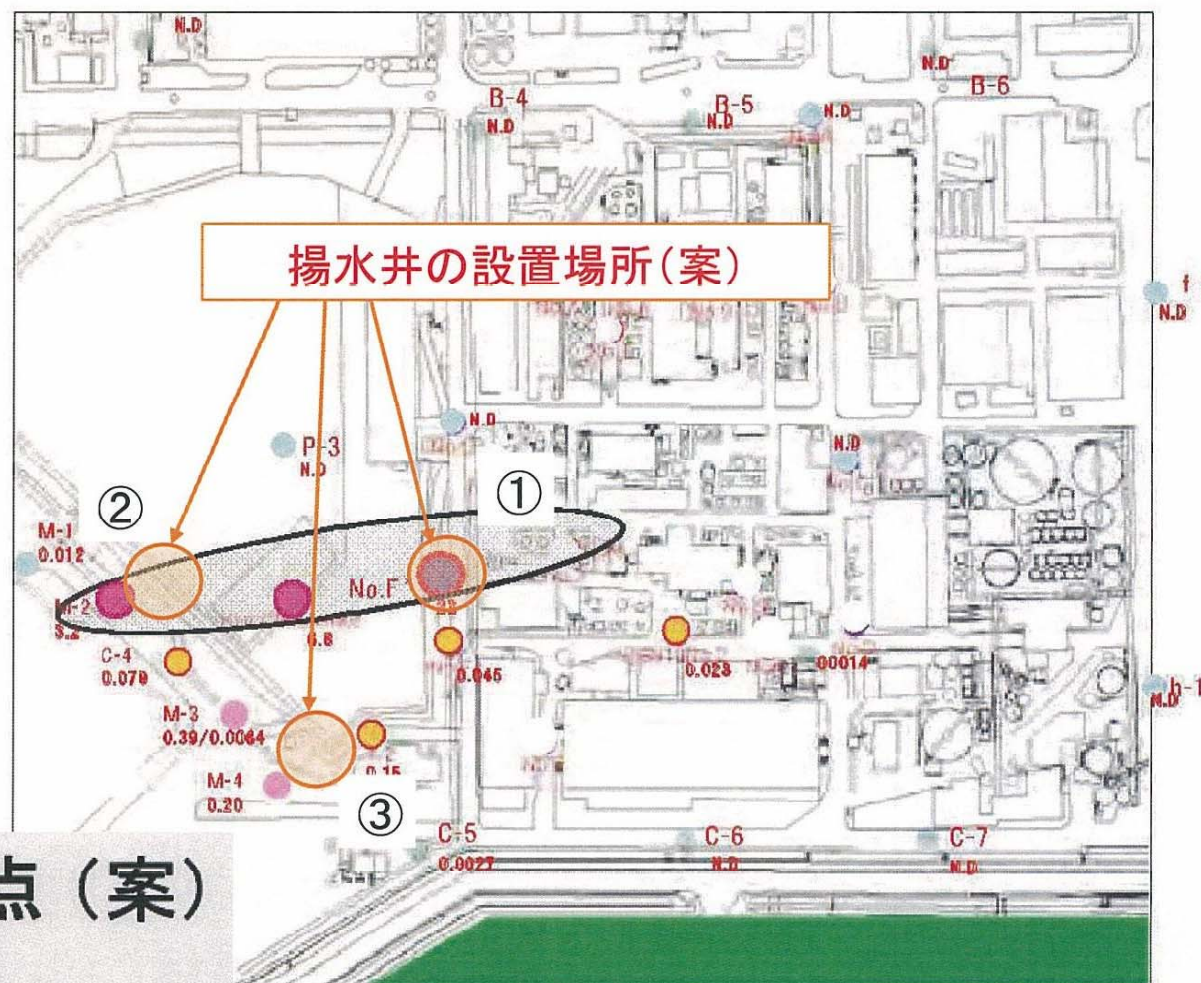
※ 観測井戸と揚水井戸（計画）



観測井戸設置 及び 水質分析結果



※ 揚水井戸の設置について(案)



揚水井掘削地点 (案)

- ①No.F' 地点
- ②M-2 地点 BS工場寄り
- ③M-4 地点 BS工場寄り

揚水量の検討

当初の計画では

Nb.F, M-2, M-4地点にて

合計

100m³～150m³／Dの揚水量を計画

• 汚染水の水処理施設について

当初の計画では

気液比: 100,

100m³～150m³の揚水量に対応した

曝気処理設備

揚水井掘削地点案として挙げているNo.F' 地点、ならびにM-2地点、M-4地点において揚水井を掘削の後、連続した揚水試験・周辺の観測井における水位低下量の観察を行い、揚水井の地点、揚水量について検討を行う。

更に、実際の揚水後の地下水水質の曝気処理によるVOCsの処理結果を併せて考察した上で、最終的な揚水井掘削地点。揚水量・井戸間隔、数量を決定する。

南東域(VOCs)第一帯水層揚水の 処理について 今後の予定

南東域に関しては詳細調査(含むシミュレーション)を簡易にとどめてモニタリング・揚水の実行に移行したため、不確定要素が残っている

• 処理計画の概要

- － 揚水量 100～300m³ / 日程度と推定
- － 最終水質 BSエリア宙水の処理と同様

宙水の処理基準と同様の基準で処理を行い、直接放流せずに処理設備(中和・希釈・沈降分離の機能あり)を経由させる

- － 方法 放散方式もしくは曝気方式

放散方式はBSエリア宙水の処理で技術的に確立されたが、仕様規模が正確には決まらないので、曝気槽を処理状況に応じて段階的に増設して行く方式を選択したい

- － 時期 可及的速やかに(仕様・見積り検討中)